

◎パブリックコメントで寄せられた質問・意見等に対する市の考え方

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
1	基本計画 2. 千曲市の将来の姿 『月の都』	「数多の古人(いにしえびと)により、～」を「 <u>数多くの</u> 古人(いにしえびと)により、～」としてください。	「古人(いにしえびと)」と同様に、「数多(あまた)」とふりがなを振るよう修正します。
2	基本計画 3. 土地利用の方針	<p>人口減少の中での高齢化社会の進行は、現実であり課題でもあります。加えて人為的な自然環境の変化が、一因ともいわれる未曾有の災害は、市民に大きな不安を与えています。</p> <p>このような背景の下で、お金の掛からないコンパクトな街づくりを目指していますが、居住地については課題も多く、代々住み続けた土地から誘導地域への移住は人道的にも容易ではありません。</p> <p>本計画案では、土地利用の方針に基づいて、現在の居住地域を「都市ゾーン」と「農業集落共生ゾーン」に類型化し、「都市ゾーン」は持続可能な集約型都市構造の実現と快適な生活環境の形成を図るとしています。一方「農業集落共生ゾーン」では生産基盤施設と共に良好な住環境基盤の整備を進める。とザックリした表現です。基盤とは何か具体例を示してください。このゾーンでも「都市ゾーン」と同等の快適な居住環境を維持できる行政施策を、差別なく担保されるのか不安は増すばかりです。</p>	<p>農業集落共生ゾーンにおける住環境基盤の整備とは、農村集落における農地の持つ自然的な側面や地域の特徴を活かした景観の整備とともに、生活道路や下水道、広場などの生活基盤を指します。</p> <p>地域住民の意向や伝統文化に配慮しながら、農村集落の特性に応じた良好な生産及び生活環境の一体的な形成を図り、活力ある地域づくりを目指してまいります。</p>
3	基本計画 4. まちづくりの目標体系 横断的な目標2	今回の計画にも数々の統計資料が使われていますが、出典は国のデータが多いです。市にも多くの基礎データがあると思われるので、市独自で行うデータの集計・分析・深掘がより良い施策を生み出すと思います。	「基本計画(案)P33の【横断的な目標2】「新しい時代の流れを力にする」において、データ活用を掲げています。データを活用した施策の立案は、EBPM(証拠に基づく政策立案)として取組を進めてまいります。
4	6. 基本目標 第1章	減災都市の基本は人口密度を低くすること、地域コミュニティ向上が肝要と言う防災専門家もおられるが千曲市はどう考えますか。	「適正な人口密度と地域コミュニティの向上」は、避難行動に有益と考えます。
5	6. 基本目標 第1章 1-1	<p>防災について。</p> <p>まず防災意識の高揚が大切だと考えます。</p> <p>もし千曲川が氾濫した場合、自分が住んでいる場所にどんな影響があるのか、目に見えてわからないと実感がわきません。</p> <p>そこで千曲川の堤防より低い地域(特に千曲川右岸)の各区公民館前か目立つ場所に堤防の高さと越水した場合の目安となる標識を建ててください。</p>	<p>「基本計画(案)P39の【施策項目1-1-1】「災害に強いまちをつくる」において、防災意識の高揚を図ることとしています。</p> <p>また、千曲川が氾濫した場合に浸水が想定される区域及び浸水の深さについて、千曲市防災ガイドブックにより周知しています。ご意見の標識の設置については検討してまいります。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
6	6. 基本目標 第1章 1-4	<p>更埴・戸倉地区は、幹線道路も整備され、住宅や店舗も多くなっていますが、上山田地区は一向に道路整備も進まず、人は便利の良い地区に出ていってしまい、益々過疎化が進み空き家がどんどん目立ちます。早くバイパスのめども立て、実施する必要もあります。</p> <p>上山田に1つある小学校の通学路の整備も遅れ、上山田の魅力は低下するばかりです。</p>	<p>「基本計画(案)」P47【達成方針1-4都市基盤】で「快適で便利な、持続可能なまちをつくる」とし、空き家対策、バイパス整備など都市基盤の整備を進めるとしています。</p> <p>今年度、市内空き家の実態調査を実施していますが、上山田地区だけに空き家が集中していることは確認できませんでした。調査結果を基に、空き家の利活用、解消に向けた施策の構築を図ってまいります。</p> <p>バイパスについては、現在、長野市塩崎、千曲市稲荷山間の工事を行っております。早期に全線開通するように今後も粘り強く国・県に要望してまいります。</p> <p>通学路については、令和3年9月に関係機関と合同点検を実施し、危険箇所について令和3年度末までに対策を講じる予定です。</p> <p>なお、歩道設置については、用地確保が必要なことから、学校及びPTA並びに警察と連携しながら地元の合意形成を図れるよう努めてまいります。</p>
7	6. 基本目標 第1章 1-4	<p>旧ジャンボクラブ信州(空家)の解体について、市で力を入れてくれている行動を強かに押し進めてください。</p>	<p>空家等対策特別措置法により、所有者に対し改善指導を行っております。今後も法律に則り、指導・勧告を実施してまいります。</p>
8	6. 基本目標 第1章 1-4	<p>新山ニュータウンの山側の道路の壁の山側約4mは千曲市の土地になっていますが、そこに生えている立木が道路の上にかぶさっており、倒木になる恐れがあります。</p> <p>市の土地の問題もあるので、早急に立木を伐採して危険を回避してください。</p>	<p>現地の状況を確認し、順次対応してまいります。</p>
9	6. 基本目標 第1章 1-4 第4章 4-2	<p>上山田小学校から漆原に行く道路の日影沢の道路沿いの山林の立木が倒木したり、大きくなって川をふさぎ、道路の通行にも支障が出ているところが何か所かあります。市の行政指導で対策を早急に講じてください。(特に旧ジャンボクラブ信州の前)</p>	<p>山林所有者に適正な管理をするよう指導してまいります。</p>
10	6. 基本目標 第1章 第4章	<p>質問No.6～9,18,25における対策を講じることで、家の建築や市外に出ていく若者をくい止めることに役立つと思います。空家対策にも関係あると思います。</p>	<p>質問No.6～9, 18, 25における対策を講じ、市民の快適な生活環境を保持し、住みたい・住み続けたいまちを目指してまいります。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
11	6. 基本目標 第1章 1-4	<p>計画1-4の成果指標では、令和8年の居住誘導地域人口(区域内人口)は全人口の42.5%としています。令和8年末には目標人口56,850人、区域内人口は24,160人であるが対策を行わなければ区域内人口も2,470人減少して22,230人と試算されます。区域内で2,000人増加の対策が必要となります。域外人口を減らして区域内人口比率を数値的に高めるとか、既に決まっている一部企業の転入に伴う移住者増加によるというような消極的な事ではなく、積極的な想定施策の説明をしてください。</p>	<p>居住誘導区域とは、人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導しようとする区域です。</p> <p>これまでに市役所庁舎・体育館などの多様な都市機能の集積や市道千曲線の整備などを行うことにより、当該区域内への居住誘導に取り組んでいます。</p> <p>「基本計画(案)」P47【達成方針1-4都市基盤】「快適で便利な、持続可能なまちをつくる」の中で、主要道路・公園などの都市基盤の整備や市街地における防災対策の強化などの取組みを進め、目標の達成に努めてまいります。</p> <p>なお、本計画において、令和8(2026)年の目標人口は56,500人以上としています。</p>
12	6. 基本目標 第2章 2-1-1	<p>「勤労者の仕事と育児の両立を目的としたファミリーサポート事業をより利用しやすい内容にするため、ニーズに合った相互援助活動を実現します。」 この内容は上3つの内容に含まれているため削除してください。</p>	<p>ご意見のとおり、内容の重なりがあるため、「勤労者の仕事と育児の両立を目的としたファミリーサポート事業をより利用しやすい内容にするため、ニーズに合った相互援助活動を実現します。」を削除します。</p>
13	6. 基本目標 第2章	<p>子育てしやすい環境づくりという点で、自然や公園だけでなく、雨の日や冬の間でも遊べるような屋内施設があると嬉しい。また、幼児だけでなく小学生以降の子どもも体を動かして遊べる、学べるような環境も視野に入れてください。</p>	<p>現在、子どもが遊べる・学べるような市内の屋内施設としては、子育て支援センターや児童館・児童センター、社会体育施設(体育館など)があります。</p> <p>「基本計画(案)」P54の【施策項目2-1-1(2)】「子育て支援環境の充実及び改善」の中で、「子どもや家族で楽しめる交流体験等施設について研究します」と位置付け、今後、新たな施設の必要性について研究を進めてまいります。</p>
14	6. 基本目標 第2章 2-2	<p>「食材の地場産物使用度」の目標値を、55.0%ではなく65.0%にしてください。</p>	<p>過去3年間の地場(県内)産物使用率は、平成30年度48.9%、令和元年度58.0%、2年度54.9%で推移しています。季節により地場産食材の種類や収量が少なく、需要に追いつかない時期もあることから、地場(県内)産物使用度の過去の推移と供給量を考慮し、目標値を55.0%に設定しています。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
15	6. 基本目標 第3章	<p>千曲市にもスパリゾートがあれば県内外から多くの人を訪れると思います。ぜひつくってください。 (例)東京のスパジアムジャポンのように、色々なお風呂、サウナ、岩盤浴があり、また、休憩出来るスペースや食事も色々なお店が入っている、一日楽しめる温泉施設。</p>	<p>市内には、市営の日帰り入浴施設が4施設あるほか、戸倉上山田温泉等の民間の日帰り温泉施設が多数あることから、現状では市営のスパリゾート等の温泉施設の必要性はないと考えております。</p>
16	6. 基本目標 第3章 3-4 第4章 4-1	<p>[感想] 人口ピラミッドから考察される情報は多く、この機会に改めて都市部を確認すると地方型とは逆で労働者が多く流入しており、また農村部では高齢者の割合が高く違いが明確です。 千曲市も15～19歳に対して20～24歳は数字上でも3割以上減少している。大学進学と就職先が都市型(平均よりも労働人口が多い)を支えているようです。 ここにきて、格差社会とコロナ感染率でも都市集中によるリスクを顕在化させています。 更には政策・自然災害を加味すると、潜在している現代貨幣理論(MMT)の不安定性が気になります。</p> <p>[考察] 本内容はパブリックコメントではありませんが、高齢化に伴う人材を有効活用(作業を含めて利用)していくことを、検討されても良いのではないかと思います。</p>	<p>現在、市では、高齢者の雇用促進や働く場の創出を目指す取組として、更埴地域シルバー人材センターへの支援を行っています。 併せて、高齢者に対する地域での介護予防活動や日常生活を送るための支援を進めるため、地域の皆さんと介護予防の取組を進めるボランティアの育成、また、社会福祉協議会では、日常生活のちょっとした困りごとへの手助けを行う有償ボランティアの取組を進めております。 「基本計画(案)」P79の【施策項目3-4-1】で「高齢者の生きがいと社会参加を支援する」として、高齢者の豊かな知識やこれまでの経験を生かし、生きがいをもって社会参加などにつなげていくための取組を進めてまいります。 また、人材の有効活用は、「基本計画(案)」P90の【施策項目4-1-1(5)】「産業人材の確保・育成支援」の中で包含しております。 年齢や性別などにかかわらず働く意思があり、働くことができる方は関係機関と連携し、産業人材として受け入れてまいります。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
17	6. 基本目標 第3章 3-4 第3章 3-5	<p>昨年「しなのの里ゴールドプラン21」に提出したパブリックコメントに対する回答より、千曲市には医療保険を使った訪問マッサージを「介護保険制度と連携したサービス」として認識していただくことができましたが、医療保険を使った訪問マッサージを「介護保険制度と連携したサービス」として認識していますが、介護保険で定められている16の特定疾病に当てはまらない65歳未満の肢体不自由の障がい者は、介護保険サービスを利用することができないことから、未だに医療保険を使った訪問マッサージの制度を知ることなく、利用するまでの道筋も整っていない状態です。</p> <p>これは「誰一人取り残さない千曲市」を掲げる千曲市にとって、「取り残しのある状態」と言えるのではないのでしょうか。</p> <p>医療保険を使った訪問マッサージを「地域包括ケアシステム」の関連専門サービスとして捉えられていなければ、今後も千曲市民へその情報が周知されることもなく、利用する道筋も閉ざされた状態が継続されてしまいます。</p> <p>「医療保険を使った訪問マッサージの正しい情報が周知されていない状態」が「取り残しのある状態」であることを認め、考慮してください。</p> <p>自力で制度を調べられる人や、各種相談窓口へ相談することのできる人でなければ、サービスを利用することができないという現実があることについて、千曲市はどのように対応されるのか、回答を示してください。</p>	<p>市内3カ所の地域包括支援センターでは、必要に応じて高齢者のご自宅等を訪問し相談支援を図るとともに、ご相談の内容に応じて制度等の紹介を行っております。</p> <p>「基本計画(案)P79の【施策項目3-4-2】「高齢者の自立した生活を支援する」として、地域包括支援センターの機能強化を図る取組を進めてまいります。</p> <p>また、「基本計画(案)P81の【達成方針3-5障がい者福祉】「その人らしさを認め合い、みんなで支えるまちをつくる」として、障がい者が安心して生活できる環境づくりや福祉サービスの充実を図ることとしています。</p> <p>障がい者等に係る相談窓口として、基幹相談支援センターを設置(ふれあい福祉センター)し、生活上の困りごとや心配ごと、必要としているニーズや課題について、訪問、電話、メール、窓口など、相談者の希望に合わせた聞き取りを行いながら、さまざまな社会資源等を活用できるように相談支援を展開しています。</p> <p>初期相談において、直接窓口に出向くことなく対応できる相談体制については引き続き維持・継続しながら、関係機関においても情報の共有を図るとともに、ホームページや市報等さまざまな媒体を活用しながら、相談窓口の普及啓発に努めてまいります。</p>
18	6. 基本目標 第4章 4-1	<p>上山田地区にも工業団地をつくり、人を集めることが必要不可欠です。</p>	<p>「基本計画(案)P92【施策項目4-1-5】で「産業地盤を強化し持続可能な社会を構築する」としています。</p> <p>企業の誘致については、引き続き企業のニーズの把握に努めるとともに、進出企業があった場合には、市は積極的に支援してまいります。</p> <p>なお、上山田地区に関しては、今後の国道18号バイパスの延伸状況により、工業用地としての需要が高まるものと考えています。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
19	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>耕作面積の少ない千曲市では広大な大地で行うような大型農業は持続可能な農業とはならない懸念があります。面積に不相应な大型機械は耕地基盤を破壊し水路や畦畔の管理が疎かとなる傾向にあり、農地の多面的活用には程遠いものとなります。当面は荒廃農地予防になりますが、その後の後継者確保は困難が予想されます。</p> <p>持続可能な農業は定年退職者(概ね65歳～75歳)を中核とした集団営農を組織し、JAの技術指導と市の支援を得て、市場ニーズに見合った高齢者向け作物の産地化を目指す。また、観光的体験農場を併設すれば人流を高めることも可能です。これぞ、健康寿命延長による財政負担の軽減、地域コミュニティ向上、互助による減災等が期待でき、結果として生きがいのある魅力的な地域となり、人生100年時代に相応しい農業と言えます。農家以外の高齢者も含め人材確保は持続可能です。</p>	<p>ご意見は「基本計画(案)」P93【達成方針4-2農林業の振興】の「地域の特性を活かした農業振興と、森林資源の多面的活用を目指す」に包括してしています。</p> <p>定年退職者は持続可能な農業にとって貴重な人材であり、「地(千)産地(千)消」を推進するため、市内で消費される農産物の生産を担っていただき、市内の直売所や給食センター等に出荷し地域内循環を促すことで、生産者の生きがいを高めるとともに、地域の結びつきも高められると考えます。</p> <p>定年帰農や退職就農者支援、また、持続可能な農村と食料づくり、市民、地域が共同で行う農業・農村の維持活動等の施策について、「千曲市食料・農業・農村基本計画」に位置付けてまいります。</p>
20	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>「日本遺産に認定され関心が高まっている姨捨棚田だが、～」を「日本遺産に認定され関心が高まっている姨捨棚田であるが、～」、または、「日本遺産に認定され関心が高まっている姨捨棚田ですが、～」としてください。</p>	<p>「日本遺産に認定され、関心が高まっている姨捨棚田ですが、～」に修正します。</p>
21	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>松くい虫被害に対する予防対策について、第三次千曲市総合計画ではどのような計画をされているのでしょうか。</p>	<p>「基本計画(案)」P95の【施策項目4-2-2】「林業の振興と森林資源の多面的活用」に「林道・作業道の整備などの森林整備事業を推進するとともに、防災・減災対策などのために山林の保全を進めます」と位置付け、『千曲市森林整備計画』において、松くい虫被害防止について明記しています。</p>
22	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>千曲市森林整備計画においては、この松くい虫被害状況(実態)について、どのように現状把握がされているのでしょうか。 松くい虫被害のマップなど開示してください。 また、予防対策の具体的なスケジュール・活動項目などを聞かせてください。</p>	<p>千曲市森林整備計画では、松くい虫被害防止方法を定めています。</p> <p>松くい虫の被害状況については、毎年市内57か所の定点観察により確認しています。被害マップの開示については、ホームページによる公表を実施したいと考えております。</p> <p>予防対策の具体的なスケジュール等については、例年5～7月及び11月～2月に伐倒駆除、6月に上山田地区の薬剤地上散布、通年で個人による松くい虫被害対策に対する助成を行っています。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
23	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>千曲市森林整備計画「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針」については、どのような内容でしょうか。</p> <p>また、「松くい虫被害防除対策事業」を実施しているとの記載がありますが、どのような内容・実施効果でしょうか。</p>	<p>「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針」では、マツノマダラカミキリの活動時期に応じたアカマツの伐採や伐採後の処理について記載があり、指針に基づき市内のアカマツの伐採を実施しています。</p> <p>「松くい虫被害防除対策事業」は、伐倒駆除、薬剤散布等の各種予防事業を組み合わせながら実施しており、被害対策事業の効果については、気象条件や地形、虫の活動周期などの各種要因が影響しますが、被害量は減少傾向にあります。</p>
24	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>5年後の目指す姿として(松くい虫被害対策として)「手入れが必要な森林については官民一体となって適切な管理を実施している。」とありますが、被害を未然に防止するための施策を聞かせてください。</p>	<p>「被害を未然に防止する」という観点からの対策としては、薬剤散布や薬剤の樹幹注入が考えられます。薬剤空中散布については、平成28年度から見合わせていますが、上山田(城山)地区では、地上散布車による薬剤散布を実施しています。</p> <p>また、個人による樹幹注入等に対し、市は助成を行っています。</p> <p>なお、「被害木からの被害拡大を防ぐ」という観点から、伐倒駆除も実施しています。</p>
25	6. 基本目標 第4章 4-2	<p>山間部の市道、県道では山の管理がおろそかになっており、このままだと後になればなるほど大変なことになるので対策を講じてください。</p>	<p>「基本計画(案)」P95【施策項目4-2-2】の「林業の振興と森林資源の多面的活用」において、山林の保全を進めることとしています。</p> <p>危険性があり、直ちに対応が必要なものにつきましては、各道路管理者へご相談ください。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
26	6. 基本目標 第4章 4-3	<p>まちづくりについて。</p> <p>以前見られた善光寺詣での団体客目当ての経営構造から多様化するお客さんがリピートで来てくれるような情緒ある温泉街に変身する必要があると考えます。温泉街の雰囲気や環境づくりは観光協会だけの力では限度があります。市の重要課題として取り組んでいただきたいと考えます。具体的には現存する施設の活用として、観音寺/善光寺分院やお薬師さん(夜桜がとても綺麗で情緒もあります)への遊歩道、堤防の内側を杏並木にする等々腹案はありますが、まずは情緒の盛り上げで成功している「城之崎温泉」を視察に訪れて参考にいただき、その上でまちづくりの構想を立ててください。</p> <p>余談ですが、市政になる前、戸倉町当てに同様の提案と杏の苗木(1000本?)の寄付を提案させて頂きましたが全く無しの礎でした。</p> <p>千曲市の最大観光資源が活性化しなければ市の活性化も難しいと思います。誘客には具体的のリピーターイベントに絡めて、参加者・その家族・友人など、またその方々が毎年その季節に訪れる企画が必要だと思えます。</p> <p>個々にあげるイベントの規模(最初は近隣県下から将来全国へ)、募集方法、表彰、賞金、商品などについて、それぞれ腹案はありますが簡潔にするため省略します。</p> <p>【春】 千曲川左岸のサイクリングロードを活かした「サイクリングレース」。 全国有数のサイクリングロードを是非活かしていただきたい。東京方面の愛好者からも評判が良いです(森の杏も見頃です)。</p> <p>【夏】 グラウンドを活かした「クラシックカーコンテスト(バイクでも)。 年々愛好者が増えています。また、それを見に来るお客様も増えると思います。</p> <p>【秋】 温泉から冠着神社往復の「マウンテンバイクレース」。 冠着神社で御朱印を貰ってくるレースで、クラス別にすることで子どもから大人まで幅広く参加して頂けます(この道は今ほとんど使われていません)。</p> <p>【冬】 創造館か体育館を使った「獅子舞コンテスト」。 採点に一般の方も参加して頂くことで盛り上がります。文化遺産の保存発展に役立つよう将来是非全国規模のコンテストにしたいと思えます。</p>	<p>人口減少・少子高齢化に伴う人口動態の変化や新型コロナウイルス感染症拡大により、観光に対する意識が大きく変わり、新しい観光スタイルへの変容が求められています。</p> <p>「基本計画(案)」P97の【達成方針4-3観光交流】「市内・広域の観光資源の連携を図り、千曲ブランドを確立する」として、信州千曲観光局、関係団体等と連携し、新たな誘客取組の強化と、リピーターの獲得を目指してまいります。</p> <p>いただきましたご意見を参考に、地域ごとに四季折々の魅力を高めるためのイベントや、各地域が連携した観光ルートづくりなどを検討してまいります。</p>

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
27	6. 基本目標 第4章 4-3	総合計画99ページの成果指標について 基準値が令和2年度であるため、コロナ禍での数値となっていると思われ、かなり低くなっています。ですので、交流人口が77万人から186万人へと100万人以上増えるという目標値になってしまいます。これは数値だけ見ると不可能に近いと思われれます。他の項目ではコロナ禍前の数値(平成30年など)を使用していますので、この指標についてもコロナ禍以前の数値で示してください。正確な成果指標となるような数値の使用を要望します。	新型コロナウイルス感染症の収束が不透明なことから、基準値はコロナ禍で落ち込んだ令和2年度をあえて示し、観光需要をコロナ禍以前の状態に戻すこととして、コロナ禍前の実績数値(平成30年)を目標値に設定しています。
28	6. 基本目標 第4章 4-4	人口流入を促す意味でも、相続税の見直し、アパート経営者等に対する減税処置も一案にしてください。	相続税については国税となりますので、市において見直しを行うことはできません。 移住・定住施策について「基本計画(案)」P100の【達成方針4-4移住・定住】「住みたい・住み続けたい魅力あるまちをつくる」とし、各種施策を推進してまいります。
29	6. 基本目標 第4章 4-4	今後益々空家が増えてくると思われれます。空家を活用した住宅の供給等も一案にしてください。	空き家を活用した住宅の供給は、現在も実施しておりますが、移住・定住施策では「基本計画(案)」P101の【施策項目4-4-2】「移住・定住促進のための環境を整える」とし、「千曲市空き家バンク」による空き家の利活用促進を進めてまいります。
30	6. 基本目標 第6章	「緑と水と空気のきれいな街」にしてください。 肥料(木の皮が入っている)から発生するヒ素により、大気・水・土壌が汚染されま す。	基本目標6の「未来に繋げる自然と共生するまち」において、ご意見のまちづくりを推進することとしております。
31	6. 基本目標 第6章 6-1	「日常生活における環境問題を解決して、市民・地域・事業者・行政が連帯し取組 んでいる。」を、「日常生活における環境問題を解決して、市民・地域・事業者・行政 が連帯し取り組んでいます。」としてください。	ご意見のとおり修正します。

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
32	6. 基本目標 第6章 6-4	1人1日当たりのごみ排出量の目標値が780gとなっていますが、令和2年765gの実績から750gにしてください。	<p>「1人1日当たりのごみ排出量」については、家庭から出されるごみだけでなく、事業所から排出される一般廃棄物（事業系ごみ）も含めての算出となります。</p> <p>事業系ごみについては、大規模排出事業所への分別や資源化推進の指導等を行っておりますが、過去10年間では増加しております。（平成22年度4,400トン⇒令和元年度5,057トン）</p> <p>しかし、令和2年度はコロナ禍により事業系ごみ量が4,524トンと大幅に減少したことから、1人1日当たりのごみ排出量も減となっています。（令和元年度782g⇒令和2年度765g）</p> <p>事業系ごみについては、経済情勢等により増減に大きく影響があること、また家庭ごみについては既に市民の皆様へ排出抑制や資源物分別が根付いており、現状以上のごみ減量は過剰な負担を強いる可能性もあることから、令和元年度から2g減のほぼ現状維持を目標としています。</p>
33	6. 基本目標 第7章 7-1-1	「家庭・地域における、性別に基づく固定的な役割分担意識を解消するため、男女平等の意識を育てる教育を推進するとともに～」を、「家庭・地域・職場における、性別に基づく固定的な役割分担意識を解消するため、男女平等の意識を育てる教育や学習を推進するとともに～」としてください。	<p>①「職場」について 職場への啓発活動は重要と考えておりますので、文言を追加いたします。</p> <p>②「や学習」について 当該項目中「教育」「啓発活動」の文言に、「学習」の意味を包括しています。</p>
34	6. 基本目標 第7章 7-1	市民意識調査における設問「男女共同参画」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合を、30.0%では低すぎるため40.0%か50.0%にしてください。	満足度の上昇には、個人の意識の定着や、地域・社会の変化が不可欠であると捉えており、劇的に上昇する数値ではないと考えております。そのため、満足度の目標値は30.0%とし、セミナーの開催や啓発活動等により、男女共同参画意識の向上・定着を積極的に推進してまいります。

質問 NO	第三次千曲市総合 計画案該当箇所	質問・意見等の要旨	市の考え方
35	6. 基本目標 第7章 7-3	第三次千曲市総合計画(第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略)について、各区より推進委員を選出し、市と情報交換をしながら進めてください。	「基本計画(案)」P131【達成方針7-3市民協働・市民交流】で「みんなでつくる活力ある地域を目指す」とし、P133【7-3-3】「市民と行政の情報共有化の促進」を進めてまいります。 いただきましたご意見を参考に、協働のまちづくりを進めてまいります。
36	6. 基本目標 第7章 7-4 第6章 6-1	人口減からのV回帰は困難、増収策は税込だけでなく、課題は多いが市の収益事業を検討し事業化することが肝要です。市民のために稼げる役所に生まれ変わる事が求められます。 例えば、自然再生エネルギーを生産し、その電力を市民に格安で供給する仕組みを、地球環境ゼロカーボンの取組みと併せて、公益的視点で確立すれば市民サービスと市財政強靱化につながる有効な施策になると考えます。発電から供給まで地産地消の取組みが肝心です。また、発電パネルの下で農作物を育成する取組も始まっています。	「基本計画(案)」P134【達成方針7-4行政経営】で「広域連携を進め、持続可能な行政運営を目指す」とし、効率的な行財政の運営や行財政改革の推進により自主財源の確保に努めてまいります。 一例としてご意見をいただきました再生可能エネルギーによる電力事業に関しましては、設備建設経費、組織・運営体制等多くの課題があり、計画期間中の実施は難しいと考えております。